

認知症情報誌 WITH

第9号

～認め合おう、知り合おう、医療と介護～



発刊日：平成28年9月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター

協同で発行しています！

今回のWITHは、名古屋市の認知症に関する取り組みをご紹介します。裏面には「コラム」と「認知症関係の行事予定」を掲載しています。是非ご覧ください！

名古屋市の認知症に関する取り組みをご紹介します！

本市では、認知症の人やそのご家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、認知症施策に力を入れています。

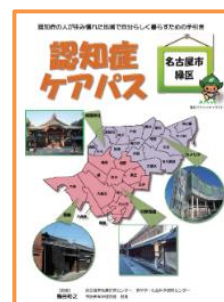


「あれ？認知症かな？」と思ったら…認知症初期集中支援チームにお任せください！

認知症は早い段階で適切な支援につなぐことが大切です。そのため、本市では各いきいき支援センターに、医療・介護の専門職と専門医で構成する「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断や早期対応に力を入れています。チーム員は、相談内容から必要と判断された場合に自宅に訪問し、認知症のご本人やご家族と一緒に今後の生活について考え、安心して暮らし続けられるようサポートしています。「認知症と診断されたがこれからどうしたらいいのか」、「病院に連れていくのが難しい」などお悩みの方はぜひお住いの地域を担当するいきいき支援センターか認知症コールセンターにご相談ください。

制度やサービスを知りたいときは…認知症ケアパスをご活用ください！

認知症ケアパスとは、症状の進行に合わせて「いつどこでどんな支援が受けられるのか」をわかりやすく示したものです。利用できる医療・介護サービスなどをあらかじめ知ることができ、認知症のご本人やご家族の安心感につながります。本市では、各区で認知症ケアパスを作成し、普及・啓発をすすめています。『なごや認知症あんしんナビ』（<http://n-renkei.jp/index.html>）で公開していますので、ぜひご覧ください。



認知症の人が安心して暮らせるまちづくりのために…認知症地域支援推進員が活躍しています！

認知症のご本人やご家族が、住み慣れた地域で自分らしく生活していくためには、地域の方々の理解や支援が必要です。本市では、各いきいき支援センターに「認知症地域支援推進員」を配置し、地域の方々をはじめ商店や銀行などの日々の生活に関わる方々や、医療・介護の専門職の皆さんと、認知症の啓発や認知症の人が安心して過ごせる場（認知症カフェ）づくりなどに取り組んでいます。



推進員が主催する会議の様子

※詳細は、お住いの地域を担当するいきいき支援センターか認知症コールセンターへお問い合わせください。

問合先及び認知症に関する相談窓口

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-919-6633

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802 ◆まつかけシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎052-795-3560

※守山荘病院は平成28年5月10日に「もりやま総合心療病院」に名称変更しました。
「もりやま」とひらがなが入ったことで柔らかい雰囲気になり、
これまでより身近に感じていただけるようになったのではないかと思います。



イギリスでは認知症の発症率が15%程下がったと話題になりました。生活習慣病の予防の成果だそうです。糖尿病だけでなく、色々な生活習慣病を減らす事が認知症の予防にもなるようです。しかし人口の高齢化は止められないため、認知症の人はどんどん増えていきます。認知症は若い世代にも発症するので、これからはまさに『認知症とともに生きてゆく時代』になります。

認知症の入口に MCI（軽度認知障害）と呼ばれる状態があります。物忘れは少し強いが普通の生活ができる人々のことですが、そのうちの20%が認知症になり、40%は正常に戻るといわれています。この入口で何とか認知症にならないように踏ん張らなくてはなりません。そのためには早く兆候をつかむこと、そして正しく診断して早く治療を開始することが大切です。しかし、出来事を忘れるのが認知症ですから、本人からみれば自分では全く問題なく生活していると思っている時に「あなたは認知症だから病院に行きなさい」という大切な家族からの予期せぬ言葉を聞くことになります。自分より家族を信じて従う人もいるでしょうが、なかなか受け入れられない人も多いはずです。受け入れられずに嫌がる人を「医療」や「介護」につなげていくことはとても大変なことです。しかし今は、名古屋市の各区域のいきいき支援センターには「認知症初期集中支援チーム」と「認知症地域支援推進員」が配置されていて、一緒に考えてサポートしてくれます。まずは皆さ一人一人が変化に気づくこと。そして気づいたら、いきいき支援センターへご相談ください。

～認知症関係の行事予定～

詳細、申込方法等は問合先までお問合せください
◆10月6日（木）13：30～15：30 要申込
【港区認知症の方を地域で支えるシンポジウム】（場所：港文化小劇場）
 「認知症の方も住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり」
 元NHK福祉ネットワークキャスター町永俊雄氏
 （コーディネーター） ※定員：350名

問合先：港保健所保健予防課 ☎ 052-651-6539

◆10月14日（金）14：00～16：00
【北区認知症講演会】（場所：北区役所講堂）
 「認知症予防と回想法」
 日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科
 来島修志氏（講演）
 ※定員：200名 ※北区在住・在勤の方
 問合先：北保健所保健看護担当 ☎ 052-917-6554

◆10月27日（木）13：30～15：30
【中村区認知症講演会】（場所：中村文化小劇場）
 「認知症の予防と運動の効果」
 東海学園大学健康開発支援センター長 島岡清先生
 （講演）・めいらく寸劇グループ（朗読劇）※定員：350名
 問合先：中村保健所保健看護担当 ☎ 052-481-2218

◆11月5日（土）13：30～16：00 要申込
【熱田区認知症講演会】（場所：熱田区役所講堂）
 「認知症の方・家族の方を地域で支える（仮称）」
 名鉄病院認知症疾患医療センター長 宮尾真一先生
 （講演）・鶴飼久美子先生（音楽療法）※定員：350名
 問合先：熱田区いきいき支援センター ☎ 052-671-3195

★★平成29年2月にも、認知症講演会を予定しています（認知症のご本人・ご家族の講話）

認知症相談支援センター facebook では認知症イベント情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/ninchishou.soudan>

◆11月8日（火）～13日（日）
【みずほ介護フェスタ '16】（場所：瑞穂区役所）
 “えがおで介護”をテーマに日替わりで開催
 国立長寿医療研究センター島田裕之先生（介護予防の講演）、認知症サポーター養成講座、作品展示他
 問合先：瑞穂区役所福祉課介護保険係 ☎ 052-852-9396

◆11月12日（土）13：30～16：45
【千種区第13回市民シンポジウム】（場所：千種区役所講堂）
 「認知症の理解と援助
 ～認知症になっても住み続けられる地域づくり～」
 社会医療法人財団石心会 川崎幸クリニック院長
 杉山孝博先生（講演）、シンポジウム
 問合先：千種区役所福祉課 ☎ 052-753-1839
 千種保健所保健予防課 ☎ 052-753-1984

◆11月20日（日）10：00～15：30
【介護まつり in なか 2016】（場所：中区役所ホール他）
 認知症をはじめとする介護サービス紹介
 相談コーナー、渡辺哲雄氏による講演会他
 問合先：中区いきいき支援センター ☎ 052-331-9674
 ★★12月7日（水）認知症市民講演会の企画があります

◆11月25日（金）13：30～15：30
【緑区市民向け講演会】（場所：緑文化小劇場）
 「認知症の早期発見、予防のための健康体操」
 国立長寿医療研究センター佐治直樹医師（講演）
 同センター予防老年学研究部李成喆医師（体操）
 定員：430名
 問合先：緑区北部いきいき支援センター ☎ 052-899-2002
 緑区南部いきいき支援センター ☎ 052-624-8343

◆12月2日（金）13：00～16：30
【介護フェスタ in てんぱく 2016】（場所：天白文化小劇場）
 認知症講演会（並木病院院長 山本續子先生）
 映画上映「徘徊ママリ 87歳の夏」他※定員：350名
 問合先：天白区役所福祉課 ☎ 052-807-3887